

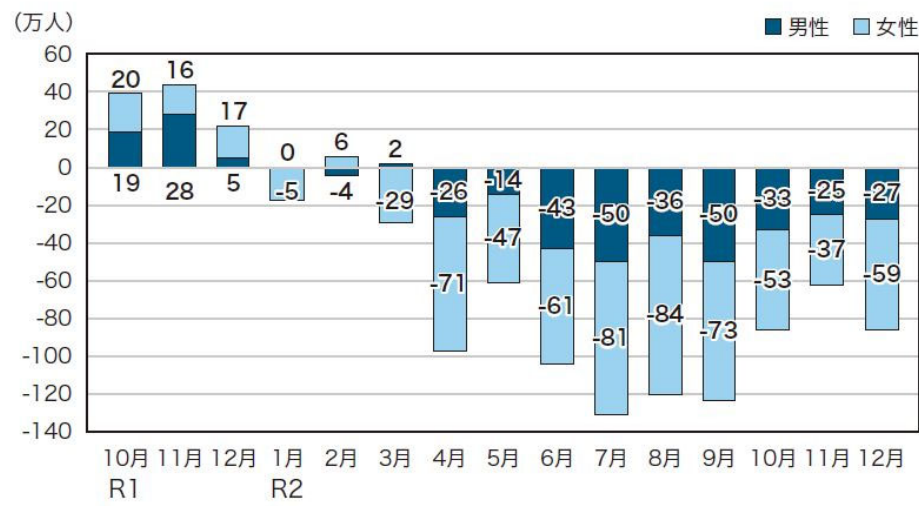
■ 大学卒程度等採用試験 第二次試験論文の出題

年度	区分	テーマ
R6	事務・学校事務	横浜市では、中期計画2022－2025で「子育てしたいまち 次世代を共に育むまちヨコハマ」を基本戦略に掲げ、子どもたちを育む環境の充実に向けて、「子ども・子育て支援」に最優先で取り組んでおり、子育て世代の「ゆとり」を求める声に応じた施策を展開しています。 そこで、行政が子育て世代の「ゆとり」を創出するうえでの課題を挙げ、その解決に向け、横浜市職員としてどのように取り組んでいきたいか、考えを述べなさい。
R5	事務・学校事務	近年、気候変動に伴う風水害等の激甚・頻発化や、多くの被害が想定される大規模地震発生の切迫など、自然災害に対するリスクは年々高まっています。こうした状況の中でも、持続可能な都市として発展し続けるため、横浜市では災害から人命と社会経済活動を守る安全な都市の実現に向けて、地域防災力の向上など防災・減災と強靱化の取組を総合的・継続的に進めています。 市民一人ひとりに「自らの命は自らで守る」防災意識の浸透を図るための取組を進めるため、横浜市職員としてどのように取り組んでいきたいか、あなたの考えを述べなさい。
R4	学校事務	学校現場においてICT(情報通信技術)を有効に活用していくために、必要なことは何か、また、そのために学校における事務の専門職としてどのように取り組んでいきたいか、あなたの考えを述べなさい。

※ 令和4年度の事務については次ページ以降に掲載しています。

次の 2 つの資料から、性別にかかわらず誰もが個性と能力を発揮し、活躍できる社会の実現のために、あなたが考える課題及び横浜市が進めるべき具体的な取組を述べなさい。

＜資料 1＞雇用状況悪化に伴う「非正規雇用労働者数」の前年同月比（全国）

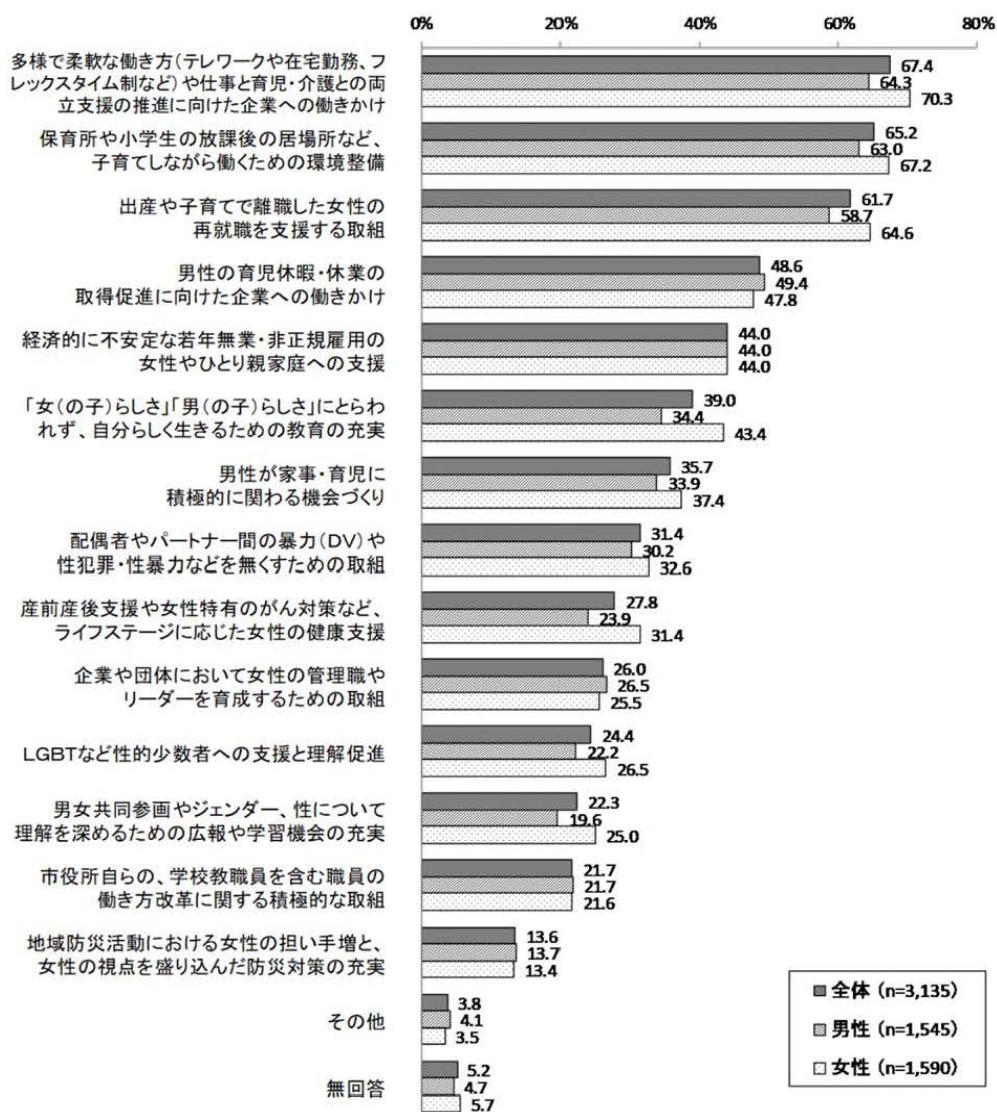


【「第 5 次横浜市男女共同参画行動計画」より作成】

(次ページあり)

<資料2> 男女共同参画社会の実現に向けて重点的に取り組むべきこと

質問：あなたは、男女共同参画社会の実現に向けて、横浜市が重点をおいて取り組むべきと思うものは、どのようなことですか。（〇はいくつでも）



【「令和2年度 男女共同参画に関する市民意識調査 概要版」より作成】

【参考】

- ・調査対象者 無作為に抽出した横浜市内在住者（18歳以上）
- ・調査方法 郵送配付、郵送回収
- ・調査時期 令和2年5月23日～6月12日